



2025年2月5日

各 位

会 社 名 テスホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 山本 一樹  
(コード：5074 東証プライム)  
問合せ先 執行役員管理本部長 平倉 正章  
(TEL：06-6308-2794)

## 大和エネルギー・インフラ株式会社との 業務提携に関するお知らせ

当社は、本日付の取締役会において、当社が、大和エネルギー・インフラ株式会社（以下「大和エネルギー・インフラ社」といいます。）との間で業務提携（以下「本業務提携」といいます。）を行い、日本国内における系統用蓄電所の開発（以下「本事業」といいます。）に取り組むことを決議するとともに、本業務提携に係る協業に関する覚書（以下「本覚書」といいます。）を締結することを決定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業務提携の理由

2050年カーボンニュートラルに向けた脱炭素ニーズの高まりと共に再生可能エネルギーのより一層の普及が期待される中、電力の需給バランスを維持し電力系統の安定化を図ることが社会課題となっております。このような背景のもと、当社グループは、2024年8月14日に発表した「TX2030 TESS Transformation 2030 / TESSグループ 中期経営計画（2025-2030）」において、「蓄電システム関連ビジネス」を注力事業分野の一つとして位置付けております。

本業務提携の相手先である大和エネルギー・インフラ社は、大和証券グループのアセットマネジメント部門における再生可能エネルギー・インフラストラクチャー分野への投資を担う会社として、国内外の太陽光発電所や風力発電所等の再生可能エネルギー発電所に幅広く投資しております。また、蓄電池分野では、2023年に大規模な系統用蓄電池事業への投資を実行し、2024年2月には同社が投資する太陽光発電所に併設する蓄電所が運転を開始する等、幅広くかつ先駆的な投資活動を実施しております。

本業務提携により、当社グループが持つ系統用蓄電所の開発力に、大和エネルギー・インフラ社の持つ系統用蓄電池事業の投資ノウハウや資金力等が加わることで、スピード感をもって系統用蓄電池事業を推進することが可能になるものと考えております。

#### 2. 業務提携の内容等

当社と大和エネルギー・インフラ社は、本業務提携により、本覚書の締結日から3年間で、日本国内において合計2GWhの系統用蓄電池案件の事業化を決定することを目標としております。本業務提携における各社の役割は次のとおりです。

(1) 当社の役割

- ・本事業候補地の探索、同事業の開発業務（系統連系申請、土地権利の確保、許認可対応等）
- ・本事業における設計、調達、施工（EPC請負）
- ・本事業におけるメンテナンス業務

(2) 大和エネルギー・インフラ社の役割

- ・本事業候補地の紹介
- ・本事業にかかる各案件の経済性の検討、デューデリジェンス
- ・本事業にかかる各案件のプロジェクトファイナンス調達を含めたスキームの検討
- ・本事業にかかる各案件への出資

3. 業務提携の相手先の概要

(1) 名 称	大和エネルギー・インフラ株式会社			
(2) 所 在 地	東京都千代田区丸の内一丁目9番1号			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 松田 守正			
(4) 事 業 内 容	再生可能エネルギー、インフラストラクチャー、資源分野における投融資			
(5) 資 本 金	5億円			
(6) 設 立 年 月 日	2018年7月27日			
(7) 大株主及び持株比率	株式会社大和インベストメント・マネジメント（100%）			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期
純 資 産		16,281百万円	21,605百万円	32,818百万円
総 資 産		135,616百万円	153,182百万円	181,782百万円
売 上 高		16,397百万円	20,988百万円	40,993百万円
営 業 利 益		3,577百万円	5,926百万円	12,063百万円
経 常 利 益		3,994百万円	6,817百万円	14,865百万円
当 期 純 利 益		2,180百万円	4,750百万円	9,742百万円

4. 今後の見通し

本覚書は、2025年2月6日に締結する予定です。

また、本業務提携による2025年6月期の連結業績への影響につきましては、軽微であるものと見込んでおります。なお、今後において、連結決算への影響が重要なものとなる場合には適時開示する予定です。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (2024年11月 5 日公表分) 及び前期連結実績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
当期連結業績予想 (2025年6月期)	百万円 38,000	百万円 2,700	百万円 400	百万円 700	円 銭 9.93
(参考) 前期実績 (2024年6月期)	30,643	2,370	7,660	1,185	16.82